

採択事業 No.4

種 別：行政提案型事業

団体名：宝塚にしたに里山ラボ

事業名：にしたにの自然を伝える冊子制作

交付決定額：500,000 円

（事業を行おうとした動機）

宝塚市街地から車で 20 分程北へ、山を越えると市街地からの景色とは一変、緑あふれる山々、田畑に囲まれた民家など、自然豊かな里山の景色が現れます。そこは宝塚市北部に位置し、市の面積の 3 分の 2 を占める「西谷」地域。「西谷」は豊かな自然や美味しい農産物、都会にはない里山の景観が沢山残るとても魅力ある地域です。

しかし、南部市街地域では、西谷の認知度は低く、まだまだ西谷の魅力は知られていないことや、西谷の情報が上手く発信されていない等の課題があります。

さらに、西谷地域での出生数は激減しており、若者の都市部への人口流出による人口減少・過疎化や急速に進む高齢化に伴う地域の課題に直面しています。西谷の自然や里山を守り残していきたい、今まで築かれてきた伝統や文化を伝承していきたい、そのために何かできることはないかと考え、西谷の魅力である自然と里山の景観、農産物という資源の価値を発信することで、景観への関心、地域の課題解決、活性化に寄与したいと本事業を考えました。

（事業を行う目的と期待される効果）

これまで、きずなづくり推進事業補助金を活用させていただき、2 冊の冊子を制作しました。どちらも大変好評で、多くの方に冊子を手にとっていただき、宝塚市内をはじめ、県外の方からもたくさん感想をいただきました。初めて西谷を知った、今度西谷に遊びに行こうと思いますなど、多くの方に西谷に興味を持っていただき、西谷の来訪、農産物などの購入のきっかけになりました。また、SNS 等での情報発信も強化したことで、フォロワー数も 3 倍に増加し、より多くの方が西谷の景観や魅力について知るきっかけを創出しています。

3 年目の集大成となる本事業では、西谷の魅力である、これまで守り受け継がれてきた自然や里山の景観、文化、歴史、さらに自然を守る取り組みをより多くの方に伝え、自然や景観への関心や愛着を育み、景観の資源の発掘、そして来訪者の増加による地域の活性化を目的とし、景観資源発掘のための「里山の自然を学ぶ」の冊子と里山を楽しむ小印刷物の制作を行います。

この冊子では、宝塚自然保護協会 顧問足立氏にご協力いただき、西谷の里山の景観の中にある里山の動植物をはじめ、里山のなりたちである歴史や文化などを子どもたちに分かりやすく紹介します。コロナ禍でなかなかイベントなどには参加できない状況が続いてい

ますが、西谷地域は屋外で密を避け、家族単位であればのんびりと過ごせる場所です。西谷を訪れた際に活用できるよう、子どもたちがのびのびと西谷を散策し、西谷の自然を楽しむよう、宝塚自然の家をはじめとする西谷地域にある動植物等を紹介します。景観をより主体的に楽しみ学ぶことで、里山の景観を身近に感じ、読者の興味や関心を引き立て、西谷の景観へのより一層の理解と景観の発掘に繋がると考え、この冊子制作事業を企画しました。

里山の動植物や歴史、文化の集積（西谷の景観資源の伝承）、with コロナ・after コロナにおける新しい里山の楽しみ方を提案することで、この冊子を使用し、遊びや学びを通して、景観に対する関心を高める景観教育に繋げ、将来を担う子ども達の地域への愛着を育むきっかけになると考えています。

西谷の景観の魅力を活かした里山のいきものに出会うきっかけを提案し紹介することで、来訪への誘導、そして、ただ訪れるだけでなく、その方自身の楽しみ方や景観を発見していただき、また来訪した際に地域の方との交流や絆を深めることを目指しています。さらに、この冊子は動植物を紹介しているので、西谷地域だけでなく、市街地域の公園などでも活用でき、宝塚市全体の自然や景観に関する関心の向上など、より広範囲での効果が期待されます。今後、西谷地域での自然体験等のイベントでの活用を想定し、他団体との連携を行っていきます。

また、本事業では、展示会の開催、ホームページや SNS での制作過程や西谷の景観に関する情報発信を行います。情報発信については、利用者の年齢層が異なる複数の SNS やホームページを利用することで、展示会においては、冊子の『里山のいきもの』を用いた「自然を楽しむ学べる」展示会を、西谷地域及び南部市街地域で開催することで、より多くの宝塚市内外の方の景観資源発掘に繋がる機会を創出します。

この事業を通して、景観資源等を発信することで、宝塚市内外のより多くの方の景観や地域への関心や愛着を育み、そして、その景観を守りたいという思いに繋がっていきたいと思っています。